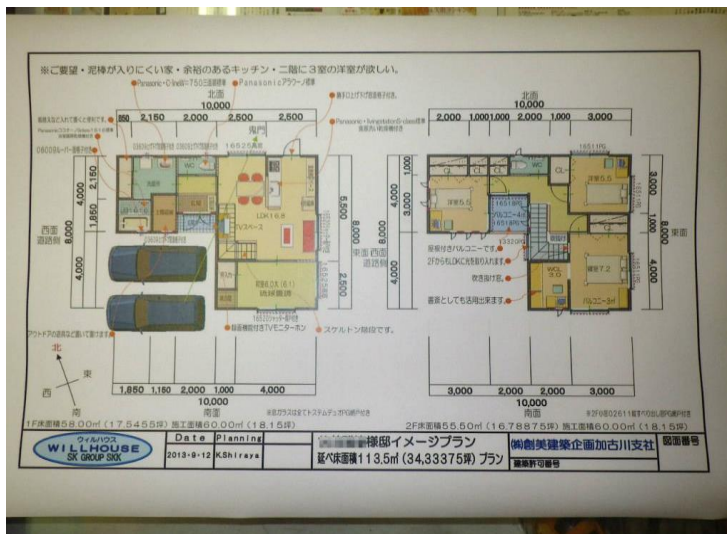


加古川市野口町長砂の土地に決定しました！ TA様おめでとうございます！



平成23年12月13日にホームページより資料請求をして頂き、それから事務所にご訪問してくださって土地探しからご依頼して頂きました。TA様、誠にありがとうございます。土地が決定致しました！11月頃より造成に掛かる分譲地なのでまだまだ先にはなりますがTA様のご要望にお応え出来るように精進致しますのでよろしくお願い致します。土地を決定されるまでには本当に色々ありました。決めようとしていた土地が先に売れてしまったり、売主の悪徳不動産屋に振り回されたりと問題もありましたが今回も土山のTO様邸と同じ売主の不動産屋なので安心して頂いています。土地の区画図の申請図面もありますので早速プランを作成させて頂きTA様にお渡しさせて頂きました。これはまだ、たたき台です。ここからイメージを膨らませて頂いてTA様の理想のお家になって行きます。間取りフェチの私にとってはプラン造りは本当に楽しいです！(笑)お客様のご希望を聞かせて頂いて、それを形にさせて頂く・・・

これほど幸せな事はありません。TA様、家づくりをお任せ頂けて本当に心より感謝致します。私はすでにワクワク状態♪(笑)

状況はまた、ブログ「御用聞き 白矢が行く！」にてご報告させて頂きますのでよろしくお願い致します！

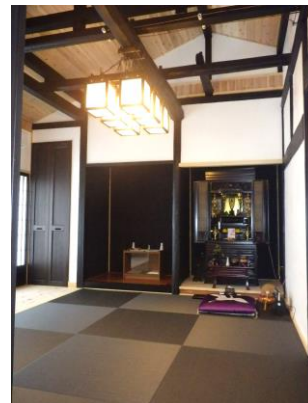


SK加古川通信

第80号
平成25年9月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

古民家再生プロジェクト！BBQ大会決定9月28日(土)です！



宍粟市千種町にある田舎の家ですが完成致しました！外構はちょっと残ってますが、何とか形になりました。詳しくはブログにて記載させて頂いておりますのでご覧ください。そして9月28日(土)に田舎の家でBBQ大会を行います！＼(^o^)/ 集合場所は宍粟市千種町の「道の駅 ちくさ」に午前11時に集合です。少し涼しくなって来てからの～食欲の秋！(笑)せっかく田舎の家があるのに使わないのはもったいないと言う事で、お客様に普段の感謝の気持ちを込めて解放致します。今回だけではなく、これからも活用して行ければと思っております。街を離れて自然豊かなところでBBQするのも、たまにはいいものですよ～！あっ！ポリタンク持って来て下さい！「山の天然水」が水道の蛇口から出てきますので、どうぞご自由にお持ち帰り下さい。工事中は業者さんもポリタンク持参で来てましたよ～(笑)それと田舎の家の近所のおちゃんが家の横にある川の水を引いてアマゴを養殖してますんでわけてもらって塩焼きにして食べましょ～！新鮮で美味しいと思いますよ！まだ開催するまで日がありますので、ご遠慮なさらず、ご参加出来るお客様はご連絡下さ～い！よろしくお祈りしますよ！＼(^o^)/

御用聞きのひとりごと・・・

最近少し涼しくなってきましたね。8月は本当に暑かったですね～と毎年言ってますが・・・(笑)今年も本社の社会福祉部門のピュアロージュが運営する陽風荘の夏祭りのお手伝いに行ってきた。今年お手伝いに行けたのは3件だけでしたが(汗)大西会長は5件ともテキ屋のおちゃんをさせてました！(笑)会長が自ら率先して施設の方々の為にする会社はあまり無いと思います。そこが素敵なところですが(笑)施設の利用者様のおじいちゃんやおばあちゃんも喜んで下さって良かったです。そしてNPOのアジア子供輝基金の方も大西会長は副理事長として頑張られています。8月には大西会長と共にカンボジアの支援活動に行ってきた。そこでSKO孤児院の男の子3人が大学に行く事が決定しました。その学費は理事長の倉橋氏が、その子供達の大学の学費を私に全部見させて下さいと申し入れがあり、私達は感動すら覚えました・・・その矢先、その子供の一人が親元に帰ると言う連絡がありました。一番大学に行きたがっていた子でした。理由は母親と親戚のおじさんが商売を始めるから手伝わす為です。芋を運ばせる為の労働力としてです。私は憤りを感じました。子供を捨てておいて、大きくなって働けるようになったら呼び戻す、子供はただお母さんと暮らす事が出来る、その想いだけで大学に行く自分の夢すら捨ててしまう、親が子供の人生を狂わせるのです。日本でも児童養護施設の支援活動をしている時に、その施設の先生から同じような話を何度も聞かされてきました。日本の場合は約7割が育児放棄ネグレクトと児童虐待からの保護です。親の大半は、子供達が大きくなって社会に出て働き出したら呼び戻して自分達の面倒を見さすとの事・・・私としては許す事が出来ませんが、子供はそれでも親の所へ帰りたいようです・・・複雑ですね・・・そこに子供への愛情があるのなら救いもあるのでしょうか、単なるタカリです。今回のカンボジアのSKO孤児院の子供も単なる労働力として連れて帰られるのです。子供はその事がわかっていながらも、お母さんと一緒に住めると言う理由だけで、自分の今まで必死になってやって来た事や夢や希望までも捨ててしまう、それまで私達にどれだけ大学に行かせて下さいとお願いされた事が、それは彼にとっては施設に育ったと言う理由で社会から弊害を受けたりしても、知識と教養があればと必死で勉強して「負けてたまるか！」と言う思いからだったのだと思います。高校での成績は常にトップクラスで我々にアピールしてました。本物のハングリー精神だったはずですが・・・私は悔しくてしかたありません・・・Facebookもあるので説得もしましたが、やはり応じてはくれませんでした。あと4年間の辛抱・・・長い人生の中でたった4年です。親に会いたいなら会えばいい、今まで、それ以上に長い期間、親に捨てられて来たのではないかと・・・施設にいれば、贅沢は出来なくても、ご飯も食べられる、寝るところもあり、今まで通り勉強も出来る・・・色んな捉え方もあると思いますがやはり血縁には勝てないと言う事なのではないでしょうか・・・ただただ今は、彼が幸せにお母さんと暮らす事が出来ればと願わざるおえません・・・それでも大西会長も私も必要としてくれる限り、この支援活動を続けて参ります・・・人様に必要として頂ける事に感謝して・・・



御用聞き しらや こういち